

自ら学ぶ学習姿勢の育成について

～ 週末課題への取組～

岐阜県立各務原西高等学校

1 本校の概要

本校は、昭和58年4月岐阜大学農学部グラウンドの跡地に全日制課程普通科の高等学校として発足した。平成8年4月から普通科・単位制高等学校に改編され、県下で初の単位制高等学校となった。平成14年11月には創立20周年を迎え、今年度は1学年約280名、全校生徒数832名で、クラス編成を1, 2年次は9クラス、3年次は8クラスで行っている。

教育目標は規律ある進学型単位制高等学校を標榜して、校訓の「好学時習」、「質実剛健」、「互敬友愛」のもと、生徒一人一人を大切に、全人的な発達を図っている。生徒は、自分の興味・関心や進路希望に合わせて、多様な科目から主体的に選択するため、少人数による授業が多くなっている。また、数学では習熟度クラス編成を行っており、1クラス20～35人で授業を行っている。

2 教育課程と指導内容

平成20年度入学生の教育課程表

ただし、2年次から私文クラスで数学を履修しない生徒もいる。

	標準 単位数	1年次	2年次		3年次							
		共通	文系	理系	文系	型	文系	型	理系	型	理系	型
数学	3	3			3							
数学	4		4	4			3		4			
数学	3											4
数学A	2	3			2							
数学B	2		2	3			2		3			
数学C	2											3

3 研究のねらい

本校は単位制を生かして、少人数授業や習熟度クラス編成等を行い、手厚い指導を行っている。しかし、個別指導等を行っているにもかかわらず、生徒の学習姿勢は積極的とは言えない。そのことは週末課題への取組姿勢に見受けられる。そこで、家庭での学習方法、自ら学ぶことができる課題の提示方法について検証してみることにした。

4 研究内容・方法

過去3カ年に週末課題をどのように提示してきたのかを調べ、今年度は2年次生の週末課題の提示方法を変えた。

昨年度は、チャート数学 + A (数研出版)の問題を提示し、その問題をノートに解いて提出

させた。また、週末課題テストは、その指定範囲の類似問題を提示し、満点の5割を合格基準とした。テスト不合格者については、合格するまで再々試を課した。

今年度はチャート数学 + B (数研出版)の問題番号を提示するだけでなく、別に週末課題プリントを作成し、そのプリントのみを提出させた。また、週末課題テストは、出題範囲を昨年度と同じにして、不合格者に対しては課題テストの解説をする補充授業を行うことにした。

次に、週末課題の提示方法の変更による、生徒の学習意識の変化をみるための調査を行った。課題提出率や小テストの合格率について、生徒自身に評価をさせるアンケート調査を行い、それをもとに考察した。

5 本校における週末課題の取組

2008年度	1年次	2年次	3年次
出題	チャート	チャート	問題集
形式	ノート	プリント	ノート
課題テスト	10分～15分	10分～15分	10分～15分
合格ライン	7割	5割	5割
再々試	合格するまで	補充授業	補充授業

2007年度	1年次	2年次	3年次
出題	チャート	チャート	受験用問題集
形式	ノート	ノートとプリント	ノート
課題テスト	10分～15分	10分～15分	15分程度
合格ライン	5割	5～6割	7割
再々試	合格するまで	合格するまで	補充授業

2006年度	1年次	2年次	3年次
出題	チャート	チャート	受験用問題集
形式	ノートに行う	ノートに行う	ノート
課題テスト	2～3問程度	10分～15分	15分程度
合格ライン	満点	7割	6割
再々試	合格するまで	合格するまで	補充授業

6 アンケートについて

実施時：平成20年6月25日，26日授業時

対象者：各務原西高校2年次生（251名）

生徒の感想から

- ・課題を確実に提出できるようになった。
- ・途中計算など、しっかり解けるようになった。
- ・やりやすいけどプリントをなくしそう。
- ・今までより自分が真面目に取り組めるようになった。プリントの解説がない状態で課題をするのは、大変。
- ・途中で答えを見てしまわなくてすむので、自分の力で解けるから分かりやすい。
- ・前は、写すだけだったけど自分でチャートを調べるという作業をやるようになった。

- ・チャートをやらなくなってしまったことが残念

アンケート結果から

- ・数学を好きと解答してくれた生徒が意外に多く、逆に得意な生徒は少ない。また、2年次生になり、数学が少しずつ理解できなくなっていると感じている生徒が多いことがわかった。
- ・週末課題の提示方法を変更し、プリント形式にしたことで、課題の取り組みやすさを感じているようである。その結果、提出物を出すようになったと回答している生徒が多かった。

相関調査から

- ・数学が得意と感じている生徒にとっては、新週末課題テストの提示方法は好評である。ただ、不得意と感じている生徒にとっては、昨年度まで行っていたノート形式とあまり変わりがないことがわかった。
- ・全体的にいえるのは、週末課題はプリントになることで取り組みやすくなったということである。

7 今後の課題

プリント形式に変更したことで、チャートを開いて調べることができるようになった生徒がいることは、想定外のメリットであった。その反面、チャートを使用する機会が減ってしまった生徒が多かった。プリントだけでは物足りないと感じている生徒もいるため、年次全体で週末課題を変えるのではなく、習熟度別に週末課題の提示方法を工夫した方が効果的だと考える。

8 まとめ

週末課題をプリント形式に変更したことで、「しっかり提出物を出す」という目標を達成することができた。また、「自分でチャートを開いて、調べることができた」という生徒がいたことは、大きな収穫だと感じている。上記にあげたように課題はまだある。少しでも自ら学ぶ学習姿勢を育成できるよう、さらなる研究を重ねていきたい。